

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年 6月 18日	
愛知県知事 殿	
提出者	
住所 愛知県名古屋市名駅 3丁目 22番8号 株式会社クボタ建設名古屋支店	
氏名 支店長 鶴田順也 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 052-564-0530	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 クボタ建設 名古屋支店
事業場の所在地	愛知県名古屋市中村区名駅3丁目 22番8号
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	建設業：総合工事業
2 事業の規模	元請工事完成工事高 ￥829,434,000-
3 従業員数	21名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥→脱水→焼成→セメント原材料 汚泥→脱水→土壌改良剤 廃プラスチック→破砕→再生利用 コンクリート破片→破砕→再生利用 アスファルトコンクリート破片→破砕→再生利用 がれき類→破砕→再生利用

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

名古屋支店長 (環境管理担当責任者)

↓

安全課長 (産廃物管理責任者 正) / 作業所長 (産廃物管理責任者 副)

↓

廃棄物管理担当者 (作業所担当者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度 (                      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙-1			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥 (残土を除く)	廃プラスチック類
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙-1			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず・紙屑・コンクリート・アスファルト・プラスチック類 の分別処分を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記に加え金属くずの分別を実施

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
1 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特に実施しない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 実施していない			
②計画	【目標】		

	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施しない。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施しない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者へ の 処理委託量	t	t

		再生利用者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
		(これまでに実施した取組)		
別紙－２				

(第5面)

②計画	<b>【目標】</b>			
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t	t	t
	優良認定処理業者への処 理委託量	t	t	t
	再生利用者への 処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)			
	別紙－２			

※事務処理欄	
--------	--

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

① 現状	【前年度 5. 年度実績】										
	産業廃棄物の種類	建設汚泥 (残土を除く)	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	管理型建設 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	無機性汚泥
排出量	2,132.35 t	17.85 t	5.70 t	16.78 t	0.00 t	172.48 t	570.05 t	12.87 t	0.65 t	0.66 t	
(これまでに実施した取組) ・発生時に分別を徹底し再生を前提とした業者を選定している。											
② 計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	建設汚泥 (残土を除く)	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	管理型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物	管理型建設 混合廃棄物
排出量	500.00 t	10.00 t	2.00 t	10.00 t	0.00 t	150.00 t	150.00 t	8.00 t	8.00 t	8.00 t	
(今後実施する予定の計画) ・発生時に分別を徹底し再生を前提とした業者を選定している。 ・梱包材の抑制											

産業廃棄物の処理委託に関する事項

① 現状	【前年度 5 年度実績】										
	産業廃棄物の種類	建設汚泥 (残土を除く)	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	管理型建設 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	無機性汚泥
	全処理委託量	2,132.35 t	17.85 t	5.70 t	16.78 t	0.00 t	172.48 t	570.50 t	12.87 t	0.65 t	0.66 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0	17.85 t	5.70 t	16.78 t	0	0	0	12.87 t	0.65	0.66 t
	再生利用業者への処理委託量	2,132.35 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	172.48 t	570.05 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)										
		・産業廃棄物を適正に処理できる業者を選定し書面・電子契約を交わしている									
② 計画	【前年度 5 年度実績】										
	産業廃棄物の種類	建設汚泥 (残土を除く)	廃プラスチック類	紙くず	木くず	がれき類	コンクリート破片	アスファルト コンクリート破片	管理型建設 混合廃棄物	安定型 混合廃棄物	無機性汚泥
	全処理委託量	500.00 t	10.00 t	2.00 t	10.00 t	0.00 t	150.00 t	150.00 t	10.00 t	0.00 t	0.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0	10.00 t	2.00 t	10.00 t	0	0	0	10.00 t	0	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	500.00 t	t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	150.00 t	150.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認定熱回収業者以外の熱回収を業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(これまでに実施した取組)										
		・100%電子マニフェスト使用を目標とする。 ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。									